

畜産農家における暑熱対策・節電対策について

夏場の猛暑による生産性低下防止に向けた暑熱対策を行ないましょう。
また、不要な電力消費を控えた節電対策にも取り組んで頂けますよう、お願いします。



ネットに植物を這わせる(兵庫県)

畜産農家の皆さまへ



考えられる対策をまとめましたので、参考にしてください。

- 畜舎温度の低下による畜舎環境の改善
 - ・畜舎周りに遮光ネット及びつる性植物による日除けを設置。
 - ・屋根や壁に石灰乳を塗布したり、断熱材を設置。
 - ・畜舎の屋根や周囲への散水、また畜体への直接送風・散霧及び畜舎内の送風・散水の実施。
- 飼養管理の徹底による家畜の負担軽減
 - ・飼養密度を緩和し、畜舎内の換気を良くする。
(牛では毛刈りの実施)
 - ・良質で消化率の高い飼料や新鮮な水を十分に給与する。
 - ・飼料給与を涼しい時間帯に行なうとともに給与回数を増やす。
 - ・必要に応じてビタミンやミネラルを給与し、栄養不足を補う。

暑熱対策事例

1

新潟県搾乳牛50頭飼養農場での取組

畜舎環境、飼養管理における複合的な対策

- 十分な飲水の確保→給水管を太くした
- 畜舎温度上昇の抑制→井戸水を利用したスプリンクラー設置
→トンネル換気の実施(牛舎壁面に換気扇設置)
- 採食量の維持→1日6回に分けて配合飼料を少量ずつ給与
(自動給餌機)
→盗食防止板の設置により飼料摂取量を適正にコントロール

(効果)日乳量 0.4kg/頭増加 分娩間隔 0.6ヶ月短縮



牛舎屋根に設置したスプリンクラー



牛舎壁面の換気扇

暑熱対策事例

2

宮崎県肉用牛200頭飼養農場での取組

畜舎屋根への石灰塗布

- 塗布面積:800㎡(屋根材:ガリバリウム)
 - 作業人数:5名 作業時間:3時間(実質塗布時間:2時間)
 - 石灰(牛舎消毒用)、水、動力噴霧器、電動ドリル、かき混ぜ棒、ポリバケツ(大)
 - 石灰を水に溶かして石灰乳を作り、動力噴霧機にて屋根へ散布する
- 【塗布面積あたりコスト】33円/㎡
- 【注意点】①石灰乳がダマにならないよう常にかき混ぜる(電動ドリルで攪拌)
②長持ちさせるため、ムラなく丁寧に塗布する



家畜の病気に関するお問合せは山梨県西部家畜保健衛生所まで

電話・・・0551-22-0771 FAX・・・0551-22-6728

夜間の連絡は・・・090-5564-1018

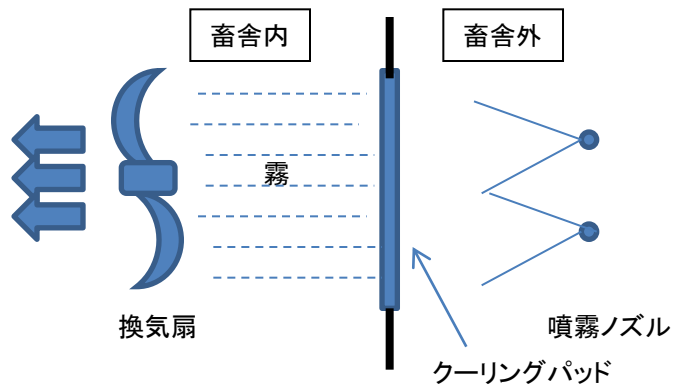
土日・休日の連絡は・・・090-5564-1018または090-5568-0817

暑熱対策事例
1

愛知県繁殖母豚350頭飼養農場での取組

分娩豚舎へのクーリング・パッドの設置

- クーリング・パッドの外側に噴霧ノズルが付いており、畜舎内に設置した換気扇により、空気を引く。これによりパッドから抜けた霧が畜舎内に流入する(下図)。
 - 噴霧ノズルは、12秒間噴射後、7秒間停止する間隙作動。
 - クーリング・パッドは29℃で作動するようにセットされ、作動時間は午前9時から午後6時まで。
 - 畜舎中央に順送ファンを設置し、排気口まで風量を維持する工夫。
- (効果) パッド作動時の畜舎内温度は、外気温と比較し、入気側・排気側とも**平均4℃低**かった。



暑熱対策事例
2

群馬県採卵鶏4,500羽 養農場での取組

アカザを利用した鶏舎庇蔭(ひいん)

- 自作地の畑などに自生している雑草であるアカザを梅雨時に抜いてきて、すべての鶏舎(8棟)の東側と南側に移植。
- アカザは成長が早く、夏期には鶏舎屋根まで覆い、鶏舎内に日陰ができた。夏を過ぎると枯れるため、後処理も容易。
- 自生するアカザを用いるため、低コストで簡易。



【注意点】

鶏舎内の風通し確保のため、アカザの下部の茎から出る枝や葉を切るなどの手入れが必要。

(効果) 夏期の死亡羽数が激減 実施前 (H19年) 約700羽
→実施後 (H20年) 約40羽

家畜の病気に関するお問合せは山梨県西部家畜保健衛生所まで

電話・・・0551-22-0771 FAX・・・0551-22-6728

夜間の連絡は・・・090-5564-1018

土日・休日の連絡は・・・090-5564-1018または090-5568-0817